

F★★★★

ホルムアルデヒド登録認定商品

非トルエン・キシレン塗料

(社)日本塗料工業会 室内環境対策の自主表示
ガイドライン「非トルエン・キシレン塗料」に適合

ALES DYNAMIC NOKI-e

水性反応硬化形アクリルシリコン樹脂系軒天専用塗料

アレスダイナミックノキエ

軒天井・上げ裏のお悩みを解決する 最適な専用塗料が登場

アレスダイナミックノキエの特長



優れた付着力

水性反応硬化樹脂の優れた付着力により、力強く下地・旧塗膜を掴みます。

卓越した隠蔽力

トマリが良く、高い隠蔽性を誇ります。

防カビ・防藻性

防カビ性・防藻性を有します。

優れた透湿性

優れた透湿性により、塗膜の膨れやハガレの防止効果があります。

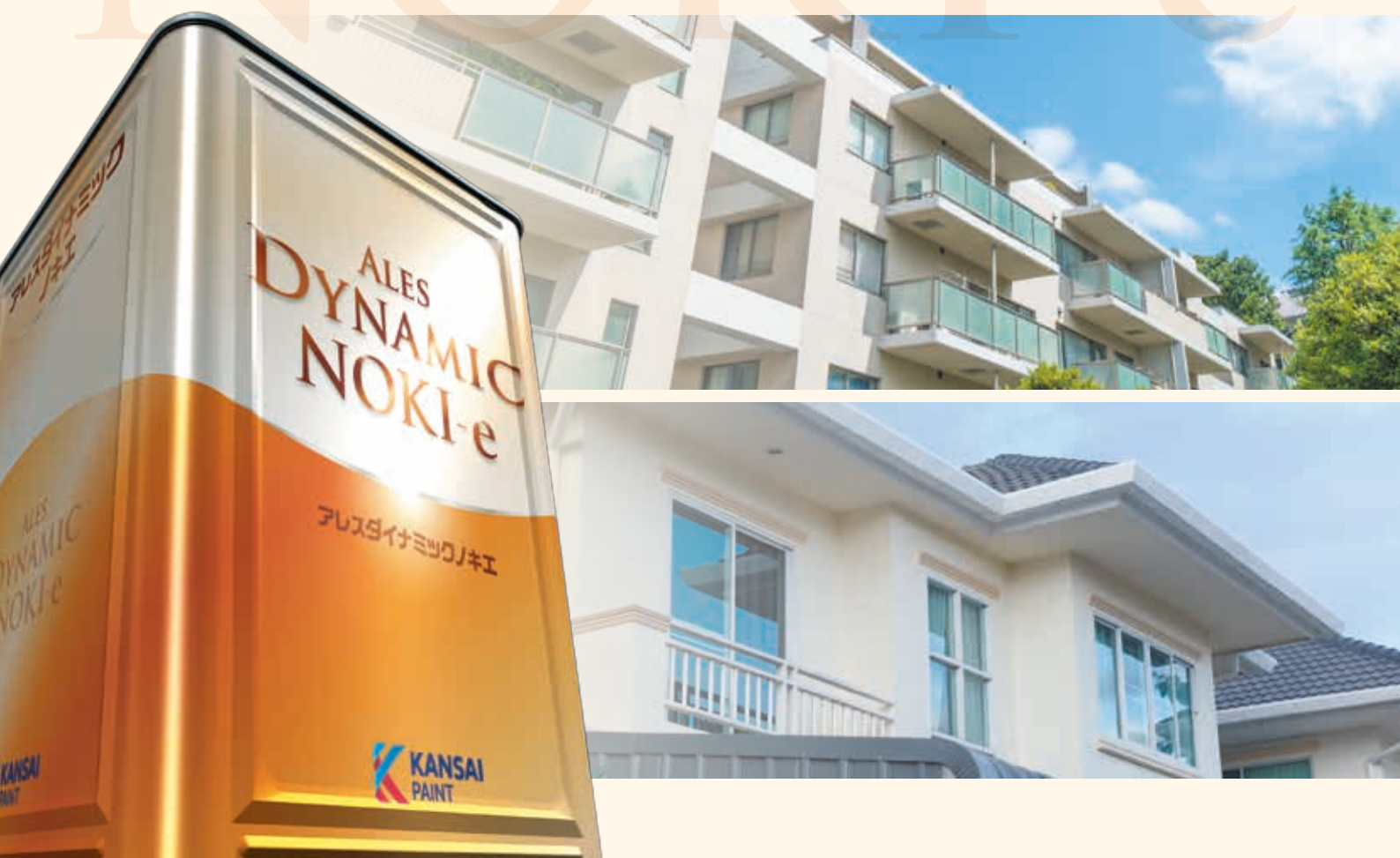
虫よけ機能

壁に塗装するだけで不快な害虫が寄り付きにくくなります。

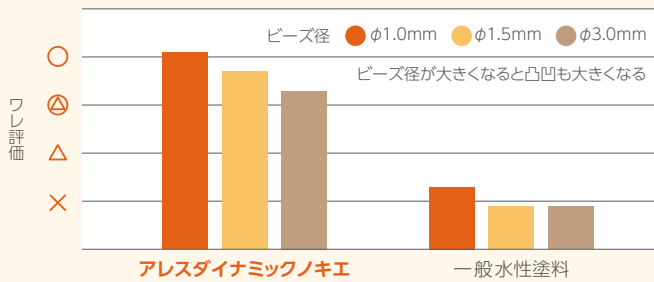
高い環境性能

水性・低臭・低VOC・F★★★★です。

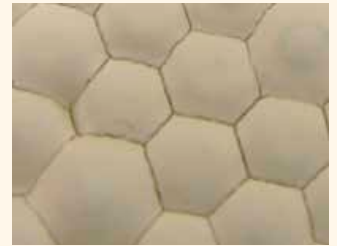
NOKI-e



耐ワレ性

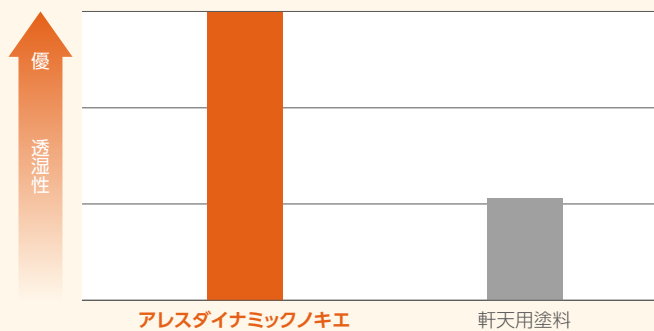


アレスダイナミックノキエ



一般水性塗料

透湿性



アレスダイナミックノキエ

軒天用塗料

防カビ性

■カビ抵抗性試験 (JIS Z 2911)



アレスダイナミックノキエ



一般水性塗料

耐汚染性

直接雨水の影響を受けませんが、軒裏という環境下を考慮し、ホコリや粉じんが付着しにくく、塗膜汚染の低減に繋がります。

■試験結果

水洗い前



アレスダイナミックノキエ



他社相当品

エアーおよび水洗い後



アレスダイナミックノキエ



他社相当品

【試験内容】

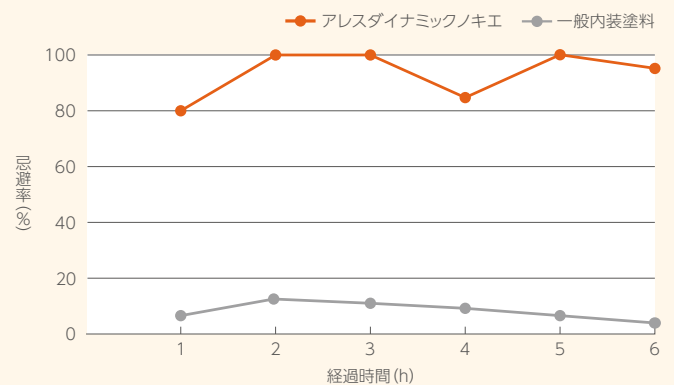
4L缶内に塗板を張り付け、粉じん(関東ローム)を入れたミキサーで攪拌する。攪拌後、塗板表面の粉じんをエアーおよび水洗いで除去し、汚染の度合いを比較する。

虫よけ機能

止まったところで効果を発揮

虫よけ成分(ピレスロイド系薬剤)配合により、塗装面に虫がとまることで(接触することで、神経系に影響を与え(不快に感じて)、虫が寄りつきにくくなります。

■ハイロユスリカの忌避率



居室に侵入後の虫の動き

多くの不快な虫は、飛んでいる時間より、壁や天井に止まっている時間の方が長い性質があります。



各種素地適性一覧

素地の種類	適性
コンクリート	○
モルタル	○
PC板	○
押出成形板	○
ケイカル板	○
スレート板	○

※それぞれの素地に対する主な適用下塗りは以下の通りです。

【コンクリート・モルタル・スレート板】
アレスタイナミックシーラーアークア
エコカチオンシーラーなど

【PC板・押出成形板】

アレスタイナミックシーラーマイルド
アレスタイナミックシーラーアークア
浸透形Mシーラー

【ケイカル板】

アレスタイナミックシーラーマイルド
アレスタイナミックシーラーアークア
エポキシシーラー

この他にも適用可能な製品がございますので、
詳細は弊社までお問い合わせください。

各種旧塗膜適性一覧

旧塗膜の種類	適性
艶消し水性塗料 (EP)	○
アクリル系塗料 (AE)	○
艶有り水性塗料 (GP)	○注1
アクリルリシン面	○注2
吹き付けタイル面	○
アクリルスタッコ面	○注3
弾性塗料面 (複層弾性・単層弾性)	×

注1:旧塗膜の種類によってはフシが発生する恐れがありますので、事前に確認の上塗装してください。

注2:弾性リシン面には塗装しないでください。

注3:弾性スタッコ面には塗装しないでください。

アレスタイナミックノキエ 標準塗装仕様

■リシン面 (軒天など)

工程	塗料名・処置	塗装方法	標準所要量 (kg/m ² /回)	希釈	希釈率 (重量%)	塗装間隔 (23℃)
素地調整	塗替面: 浮き膜を除去し、その周辺もケレンしてください。粉化物、汚れ、ゴミ、カビなどを除去し、清掃してください。					
上塗1回目	アレスタイナミックノキエ	ハケ・ローラー	0.15~0.25	上水	0~10	2時間以上7日以内
上塗2回目	アレスタイナミックノキエ	ハケ・ローラー	0.15~0.25	上水	0~10	—

※上記の各数値は、すべて標準のものです。被塗物の形状、素地の状態、気象条件、施工条件によりそれぞれ幅を生じることがあります。
(特に旧塗膜がリシン面などの粗面の場合は大幅に増える場合がありますので、試験施工などで確認してください)

※塗料を厚く付けすぎると、割れが発生する場合があります。

■平滑面

工程	塗料名・処置	塗装方法	標準所要量 (kg/m ² /回)	希釈	希釈率 (重量%)	塗装間隔 (23℃)
素地調整	新設面: エフロセシス、レイタンスなどの粉化物、汚れ、油分などを除去してください。 吸い込みの著しい下地には、吸い込み止め、付着保護のためシーラーをご使用ください。 塗替面: 劣化塗膜はケレン工具 (皮スキ、ワイヤーブラシなどで) 除去してください。ゴミ、汚れ、埃などを除去し清浄な面としてください。 塩化ビニールクロス面: クロスのめくれ、浮き、破れなどを補修し、油污れなどは中性洗剤で拭き取り後水拭きし、乾燥した清浄な面としてください。					
上塗1回目	アレスタイナミックノキエ	ハケ・ローラー	0.12~0.14	上水	0~10	2時間以上7日以内
上塗2回目	アレスタイナミックノキエ	ハケ・ローラー	0.12~0.14	上水	0~10	—

※旧塗膜が艶有りの場合、種類によっては適正がない場合がありますので試験施工などで確認してください。 ※繊維壁、耐火被覆材など表面が非常に脆弱な素材には塗装できません。

【荷姿・色・艶】

容量: 16kg 色: 白および各色 (淡彩~濃彩) 艶: 艶消し

施工上の注意事項

- 気温5℃以下、湿度が、85%以上または換気が十分でなく、結露が想定される場合は塗装を避けてください。
- 外部および準外部の塗装で降雨や降雪のおそれがある場合は塗装を避けてください。
- ゴムパッキン、プラスチックなど可塑性を含むものには塗装したり、塗膜が直接濡れないように注意してください。
- シーリング面への塗装は、塗膜の汚染、剥離、収縮割れなどの不具合を起こすことがありますので、行わないでください。
- 塗装後、24時間以内に降雨結露の影響を受けると白化、しみが残ることがあります。
- 空木、天端など長時間水が滞留する場所では塗膜の白化、膨れなどが発生することがあります。
- 常に結露が発生する用途、場所への使用は避けてください。著しい結露が予想される場合は「アレステラマイルド」などのターペン系塗料を推奨します。
- 蓄熱されやすい素材 (軽量モルタル、ALC、窯業サイディングなど) や断熱構造が強い場合で旧塗膜が弾性シリコンや弾性スタッコ、複層弾性のアクリルトップなどの塗料の場合、環境条件によって、水や温度の影響で塗膜が膨れていることがあります。そのまま塗装すると膨れが更に拡大することがありますので、旧塗膜を除去するなどの入念な下地処理を行ってください。
- 太陽光が直射するような部位への施工はなるべく避けてください (この場合、効果持続性は室内より劣ります)。
- 不快な虫の寄りや侵入をすべて妨げるものではありません。
- 使用環境により虫除け効果の持続性が異なります。

- カブト虫・クワガタ虫のペット虫や両生類・爬虫類・魚類等にも影響があります。塗膜に近づけないようにしてください。
 - 各工程の塗装間隔は、所定の時間を厳守してください。
 - 素地の乾燥は十分に行ってください。(含水率8%以下、pH10以下)
 - 開缶後よくかきまぜて均一してからご使用ください。薄過ぎは隠ぺい力不足、仕上り不良などが起こりますのでご注意ください。
 - 補修塗料が必要な場合がありますので、補修用塗料をあらかじめ確保してください。
 - ハケ塗りとローラー塗りが混在する場合、肌が異なるため若干の色差がでますので、ハケ塗りの部分は希釈を少なくして塗装してください。
 - 塗装用具はできるだけ早く洗浄してください。固まった場合はラッカーシンナーで洗浄してください。
 - 旧塗膜に発生している藻・かびは、洗浄などで必ず施工前に除去し清浄な面としてください。付着阻害を起こすおそれがあります。
 - 油污れの著しい場合は割れ・はがれを起こす場合がありますので中性洗剤でしっかり油分を落としから施工してください。
 - 素地の状態が粗面であったり、凹凸が大きい場合、塗付量が多くなります。
 - 旧塗膜が弾性塗料の塗り替えには使用しないでください。
 - 吸込みのある素材 (コンクリート、モルタル、ケイカル板など) に塗装する際は、適切なシーラーをご使用ください。
- ※本品は、防除用医薬部外品ではございません。

ご使用上の注意事項

下記の注意事項を守ってください。詳細な内容については安全データシート (SDS) をご参照ください。

- 取り扱い作業中・乾燥中ともに換気の良い場所で使用し、粉じん・ヒューム・ガス・ミスト・蒸気・スプレーを吸入しないこと。必要な保護具 (帽子・保護メガネ・マスク・手袋等) を着用し、身体に付着しないようにすること。
- 吸入に関する危険有害性情報の表示がある場合、有機ガス用防毒マスク、又は、送気マスクを着用すること。又、取り扱い作業場所には局所排気装置を設けること。
- 皮膚接触に関する危険有害性情報の表示がある場合、頭巾・えり巻きタオル・長袖の作業着・前掛けを着用すること。
- 本来の目的以外に使用しないこと。
指定材料以外のものとは混合 (多液品の混合・希釈等) しないこと。
缶の取っ手を持って振ったり、取っ手をロープやフックで吊り下げたりしないこと。
取り扱い後は、洗顔、手洗い、うがい、及び、鼻孔洗浄を十分行うこと。
使用済みの容器は、火気、溶接、加熱を避けること。
本品の付いた布類や本品のかす等は水に浸して処分すること。
- 対目に入った場合: 直ちに、多量の水で洗うとともに医師の診察を受けること。
対皮膚に付着した場合は: 直ちに拭き取り、石けん水で洗い落とし、痛みや外傷等がある場合は、医師の診

- 察を受けること。
- 吸入した場合: 空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診察を受けること。
飲み込んだ場合: 直ちに医師に連絡すること。無理に吐かせないこと。
漏出時や飛散した場合は、砂・布類 (ウエス) 等で吸い取り、拭き取ること。
火災時には、炭酸ガス、泡、又は、粉末消火器を用いること。
- 指定容器を使用し、完全にふたをして湿気のない場所に保管すること。直射日光、雨ざらしを避け、貯蔵条件に基づき保管すること。子供の手の届かない場所に保管すること。又、関連法規に基づき適正に管理すること。
- 廃棄 本品の付いた布類や本品のかす、及び、使用済み容器を廃棄するときは、関連法規を厳守の上、産業廃棄物として処分すること。(排水路、河川、下水、及び、土壌等の環境を汚染する場所へ廃棄しないこと。)
- 施工上の安全 本品は揮発性の化学物質を含んでいますので、塗装直後の引渡しの場合は、施工主に対して安全性に十分に注意を払うように指導してください。
例えば、不特定多数の方が利用される施設などの場合は、立看板などでペンキ塗り立てである旨を表示し、化学物質過敏症ならびにアレルギー体質の方が接することのないようにしてください。

関西ペイント販売株式会社

関西ペイントホームページ
www.kansai.co.jp

北海道 TEL (0133) 64-2424 FAX (0133) 64-5757
東北 TEL (022) 287-2721 FAX (022) 288-7073
北関東信越 TEL (028) 637-8200 FAX (028) 637-8223

東京 TEL (03) 5711-8905 FAX (03) 5711-8935
中部 TEL (052) 262-0921 FAX (052) 262-0981
大阪 TEL (06) 6203-5701 FAX (06) 6203-5603

中国 TEL (082) 262-7101 FAX (082) 264-3285
四国 TEL (0877) 24-5484 FAX (0877) 24-4950
九州 TEL (092) 411-9901 FAX (092) 441-3339

※製品改良のため仕様は予告なしに変更することもございますのでご諒承ください。

(19年11月01日PKO) カタログNo.876